個人企業経済調査(平成11年度)結果

平成11年度における個人企業1企業当たりの売上高及び営業利益は,前年度に比べ,製造業及びサービス業は共に減収減益,卸売・小売業,飲食店は増収増益となった。

1 製造業

《売上高は低下に転じ,営業利益は3年連続の低下》

平成11年度の1企業当たりの売上高は1113万円で,対前年度比(-)5.6%と前年度(+ 3.1%)の上昇から低下に転じ,営業利益も379万円で,対前年度比 -)6.0%と前年度(- 3.6%)に引き続き低下した。

2 卸売・小売業,飲食店

《売上高,営業利益は共に上昇に転じた》

平成11年度の1企業当たりの売上高は1842万円で,対前年度比(+)1.3%と前年度(-8.0%)の低下から上昇に転じ,営業利益も342万円で,対前年度比(+)5.0%と前年度(-9.6%)の低下から上昇に転じた。

3 サービス業

《売上高は2年連続低下し,営業利益は4年連続の低下》

平成11年度の1企業当たりの売上高は678万円で,対前年度比(-)0.1%と前年度(- 7.3%)に引き続き低下し,営業利益も296万円で,対前年度比(-)1.8%と前年度(- 8.4%)に引き続き低下した。

(%) 15 売上高 11.6 10 ■ 営業利益 5 2.0 1.5_{0.7} 0.5 0 -0.1 - 5 -5.6-6.0 -5.8 -6.1 -6.7 - 10 -10.5 - 15 -14.0 -13.4 - 20 平成7年度 10 平成11年度四半期 (%) 卸売·小売 売上高 業,飲食店 15.7 15 営業利益 10 5 0 -0.1 - 5 - 10 平成7年度 2 9 11 10 平成11年度四半期 (%) サービス業 4.8 - 売上高 3.7 4 営業利益 2 0.9 0.7 0 -0.8 -1.1 -1.2 - 2 -1.8 - 4 -3.1 -4.7 -4.8 - 6 - 8 平成7年度 9 10 11 平成11年度四半期-資料:総務庁統計局

売上高,営業利益の対前年度(同期)比の推移